

ベーゼンドルファー物語 —— 上智大学校歌誕生秘話

1号館の4階、408教室の片隅に古いグランドピアノがあるのを
ご存じですか。実はこのピアノは世界3大ピアノのひとつで、かつ
て「ウィーンの至宝」とまでいわれた名器ベーゼンドルファーです。
今は塗装もはげ、あちこちに傷もついたこのピアノは、上智大学
校歌の歴史を見てきたのです。その物語を、大胆に振り返ります。
(関連記事2面)



1932年6月14日、1号館2階の講堂
で行われた落成式の様子。「一団の学
生がうやうやしく校旗をささげて入
場」。その後、ホフマン学長の挨拶に続
き、上智大学で初めて校歌が歌われた。



曲作 忠直本山

歌 校

SOPHIA-DAIGAKU-HYMN.

Mi yo to-voshi-e ni haru yo-mi-ga-e -ru mi-
do-ri no ko-da-ma ta-ka na-ru ho-to-ri ya-su-ra
ni i-ko-u So-phi-a no wa-shi no ma-na-zashi i-
ru wa Lux ve-ri-ta-tis O so-gen no ga-ku-fu
So-phi-a u-ru-wa-shi no Al-ma ma-ter So-phi-a i

当時の校歌の楽譜。漢字が右横書きと
なっているのは戦前の習わしだが、その下
の「SOPHIA-DAIGAKU-HYMN」の文字
が興味深い。上智の聖歌として作られた？

1号館408教室にあるベーゼンドルファー(Bösendorfer)社
製のピアノ。かつて、ベーゼンドルファーはピアノの国際
コンクール最高峰といわれるショパン国際ピアノ
コンクールの公式ピアノにも選ばれていた

上智大学ソフィア会

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
TEL03-3238-3041 FAX03-3238-3028

SOPHIA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

7-1, KIOICHO, CHIYODA-KU, TOKYO 102-8554 JAPAN

ソフィア会Webサイト

<http://www.sophiakai.gr.jp/> E-mail: info@sophiakai.gr.jp

発行/上智大学ソフィア会 発行人/上原治也 編集人/穴戸周夫

発行日/2015年11月25日



ベーゼンドルファー物語

— 上智大学校歌誕生秘話



講堂から408教室へ

上智大学校歌が初めて歌われたのは1932年6月14日。その日、関東大震災で崩壊した旧校舎に代わり、新校舎として建設された今の1号館2階の講堂でその落成式が行われ、そこで初めて校歌が歌われました。

その様子を、「上智大学50年史」は次のように伝えています。

「来賓、教授、学生一同着席すると、奏樂があり、一団の学生がうやうやしく校旗をささげて入場、階段を踏んで壇上にのぼり、演説台のわきに旗を立てた。(中略)やがてホフマン学長が嵐のような拍手に迎えられて登壇。(中略)ふたたび奏樂があり、やがて新作の上智大学校歌が全員により力強く合唱された」

このとき、ベーゼンドルファーは講堂の舞台上（現在劇場となっているその舞台とは反対のソフィア通り側）にありました。「ドイツ人の神父が運んできた」とだけ伝えられるこのピアノがいつからそこにあったかわかりません。

しかしこのとき壇上にあったベンゼンドルファーが、初めて歌われた校歌の伴奏をしたことは容易に想像できます。当時の写真を見ると、校歌を伴奏するような楽器がほかには見当たりません。50年史のいう「奏樂」はこのピアノだったと考えるのが自然です。

しかし、その後はほとんど弾かれることもなく、講堂の舞台片隅に鍵をかけたまま放置されます。その状況を知った合唱団体の学生が「このピアノを使わせてほしい」と大学側に交渉、1970年代中ごろに2階の講堂から、彼らが練習場として使っていた今の408教室に運ばれたのです。

華麗なる音楽一族

このように、上智の校歌は1号館落成に合わせて作られたのです。歌詞は学内に公募し、文学部哲学科に在籍していた逸見貞男氏（1933年卒）の詩が選定されます。

一方、曲は山本直忠氏に委嘱されます。その経緯はどうだったのか。直忠氏の孫である山本純ノ介氏（千葉大学教授）は「祖父は当時麹町の三番町に住んでいて、上智のホイヴェルス神父さま（ヘルマン・ホイヴェルス＝第2代学長）と親交がありました。聖イグナチオ教会でオルガンも弾いていたようです」と証言しています。

山本家は有島武郎や与謝野晶子などの流れを汲む名門で、直忠氏はホイヴェルス神父の戯曲「受難」を作曲するなど強いつながりがありました。

直忠氏は暁星中学を卒業後に山田耕筰の紹介状を携えて日本を離れ、南米やポルトガルを経て渡独、その後ライプツィヒ国立音楽院（現ライプツィヒ

音楽大学）の作曲理論科に入学します。同音楽院を卒業して帰国（1931年）直後、ホイヴェルス神父の依頼で上智大学の校歌を作曲したと思われます。氏は1904年生まれですから、20代半ばで上智の校歌を作曲したことになります。

直忠氏はその後東京高等音楽学院（現・国立音楽大学）の教授や新交響楽団（現・NHK交響楽団）の指揮者などを務め、南山大学でも教鞭をとりました。ちなみに、ご子息は日本を代表する音楽家の山本直純氏で、テレビ番組「題名のない音楽界」などを覚えている人も多いと思います。



山本純ノ介氏

名曲を歌い継ぐ

1号館の講堂で初めて校歌が歌われたとき、作曲者の山本直忠氏がこのピアノで伴奏したと考えるのは、あくまで想像の域を出ません。しかし、彼は聖イグナチオ教会のオルガン奏者でもあったのですから、校歌初披露のこの場で作曲者自らが「ウィーンの至宝」で伴奏するというのは自然な成り行きのようにも思えます。

いずれにしても、このようにして誕生した校歌は、それぞれの世代の上智大学生によって現在まで80年以上歌い継がれてきました。名曲だと言われている。ソフィア会がかつて制作した「校歌CD」の音楽監督を務めた千住明氏（作曲家・編曲家・音楽プロデューサー）は「上智大学校歌は日本に入ってきたばかりのドイツ和声のしっかりとした基礎を踏まえて作曲されたものですから、変えてはいけぬ風格、気品などベーシックな部分はそのままにしました」と語っています。

日本の合唱界の重鎮で、上智校歌の男声4部の編曲も手掛けた多田武彦氏は「上智の校歌は早稲田大学校歌に比肩する名曲であり、作曲上もとても重要な「楽式論」を正統的に守り抜いている。その結果、詩曲ともに重厚さと清廉さを併せ持つ校歌となっている」と高い評価を下しています。

この校歌誕生に深くかかわったベーゼンドルファーは、たぶん上智大学創立時にドイツから持ってこられたのでしょう。カトリックの学校は基本的に音楽を重要な学科に挙げていますから、ピアノは必須の教材。上智大学創立に合わせて「ドイツ人神父が運んできた」との証言は正しいものと思われます。

そのベーゼンドルファーが、今ひっそりと408教室に置かれたままになっているのは、すこしさびしい気もします。

上智の新たなランドマーク「ソフィアタワー」建設中です。



上智大学は現在、四谷キャンパスの新たなランドマークとなる新6号館（ソフィアタワー）を建設中です。完成は2016年12月の予定で、完成すると地上17階、高さは77メートルとなり、四谷駅から目の前にその姿がそびえたつ姿が見られるはずだ。

ソフィアタワーには「言語教育研究センター」や「グローバル教育センター」といった上智のグローバル教育機能が集約されるほか、800人規模のホール（大教室）も設けられる予定。そして私たちソフィア会にとってのビッグニュー

スは、この7階にソフィア会の事務局やソフィアンズクラブが入ることでしょう。

現在は別の場所に置かれているソフィア会の2つの拠点「新ソフィアンズクラブ」として集約され、スペースも大幅に拡充される予定です。現在、大学側と連携して、卒業生同士の交流の場として、また集会やイベントなどが快適に開催されるよう、機能的でエキサイティングな「施設づくり」を検討しています。

写真は、秋季全国代議員会が開催された日（10月24日）のソフィアタワー。80年前に「上智の殿堂」として建設された1号館から見た様子で、10階までの鉄骨が組みあがっていました。昔の学生会館や学生食堂、男子寮があった場所といえばお分かりでしょうか。





被爆 70 周年の広島で開催! 第 7 回地域ソフィア会全国大会「2015 広島大会」

第 7 回地域ソフィア会全国大会「2015 広島大会」が 2015 年 10 月 3 日(土)と 4 日(日)の両日、広島市で開催されました。今回で 7 回目の開催となる全国大会は、ホストの広島西部ソフィア会が中心になって企画・準備を進め、広島東部、愛媛、岡山、香川、徳島、鳥取、山口の各ソフィア会が協力して行われました。

●新たなソフィア会の姿を考える情報交換会

第一部の情報交換会では、戸川宏一ソフィア会副会長の司会の下、「活発なソフィア会作りを目指して」というテーマで、中四国地域ソフィア会の活動の現状や課題が報告され、大学やソフィア会本部への要望が各ソフィア会代表から出され、対応を話し合いました。

第二部の大会では、賀谷隆太郎広島西部ソフィア会会長の歓迎の挨拶に続き、上原治也ソフィア会会長の大会挨拶、高祖敏明上智学院理事長と早下隆士上智大学長の来賓祝辞とご挨拶があり、その後、「被爆 70 周年、私にとっての広島とは」という演題で、広島出身の高祖理事長による記念講演が行われました。

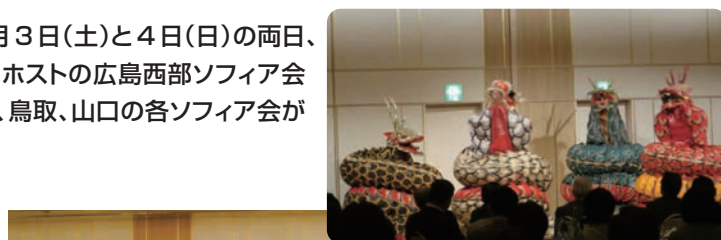
●ヤングソフィアンのパネルディスカッション

続いてパネルディスカッション「ヤングソフィアン大いに語る～若者たちの本音トーク～」が行われました。高橋典子氏(1981 年卒)の機知にとんだ軽妙な司会で、中四国地方在住の 2000 年代卒業の若手ソフィアン達が結婚観や仕事に対して、母校への思いなどをそれぞれの言葉で率直に語り、これからのソフィア会への一石を投じる楽しい意見交換の場となりました。

これからのソフィア会の発展を考える上での、横軸としての「地域」のひろがり、時間という縦軸の「未来」に対しての提言が、新しい観点から希望とともに語られる新鮮で有意義な大会でした。



パネルディスカッション



高祖理事長の記念講演

●懇親会とエクスカーショ

懇親会では広島県芸北地方の伝統神楽「芸北神楽」が披露され、卒業生によるジャズバンドの演奏や地酒などの美味し料理が歓談に華を添えました。

2 日目のエクスカーショは世界遺産「安芸の宮島」コースと瀬戸内の港町「くれ」コースが用意され、素晴らしい晴天のもと風光明媚な景勝地と地元の味を堪能し、広島大会が終了しました。

今回は第 8 回大会が宮城県で開催されます。さらにソフィアンの輪が広がり、絆が深まっていく機会となることが期待されます。

過去の地域ソフィア会全国大会

●第 1 回 2009 年九州大会<開催地: 北九州市>

ホスト北九州ソフィア会 参加者 100 名

日時: 2009 年 11 月 7 日(土) 13 時～

●第 2 回関西大会<開催地: 大阪市> ホスト関西ソフィア会 参加者 190 名

日時: 2010 年 11 月 6 日(土) 13 時～

●第 3 回山梨大会<開催地: 甲府市> ホスト山梨ソフィア会 参加者 210 名

日時: 2011 年 10 月 22 日(土) 13 時～/ 10 月 23 日(日) エクスカーショ

●第 4 回函館大会<開催地: 函館市> ホスト札幌ソフィア会 参加者 226 名

日時: 2012 年 10 月 6 日(土) 13 時～/ 10 月 7 日(日) エクスカーショ

●第 5 回東京大会(大学創立 100 周年記念拡大大会)

ホスト上智大学ソフィア会 参加者 450 名

日時: 2013 年 10 月 19 日(土) 14 時 10 分～/ 10 月 20 日(日) エクスカーショ

●第 6 回新潟大会<開催地: 新潟市> ホスト新潟ソフィア会 参加者 185 名

日時: 2014 年 9 月 27 日(土) 13 時 30 分～/ 9 月 28 日(日) エクスカーショ

■ 2016 年度第 8 回地域ソフィア会 ■ 全国大会は仙台市で開催!!

日時: 2016 年 9 月 24 日(土)、25 日(日)
場所: 江陽グランドホテル(仙台市青葉区)
ホストソフィア会: 宮城ソフィア会



「財政基盤の強化」など、 2015年度重点目標を採択

上智大学ソフィア会は5月16日(土)午後2時半から上智大学10号館講堂において、425名の代議員の参加(議長への委任状を含む)のもと、2015年上智大学ソフィア会春季全国代議員会を開催しました。

代議員会では冒頭、上原治也ソフィア会会長が挨拶、その中でソフィア会に多大な貢献をされたヨゼフ・ピタウ先生、グスタボ・アンドラーデ先生、鈴木宣明先生をはじめ2014年以降逝去された方々に黙とうをささげました。続いて来賓としてお招きした高祖敏明上智学院理事長、早下隆土上智大学長にご挨拶をいただきました。

その後、上原会長を議長に9つの議題について審議に入り、上原会長ほか各担当の委員長がそれぞれの項目について説明。代議員の方々からいくつかの意見、感想が寄せられましたが、2014年度の事業計画・決算報告、2015年度の事業計画・予算案を含め、いずれも原案通り採択されました。またこの中で、新たに5つの各種ソフィア会の登録申請が承認されました。

決議された議案と主な内容

①新規代議員10名を承認

五十嵐智勇(67理機)、篠崎晃(60外西)、春山光右(73外英)、三浦悟(92理化)、上田芳郎(75文英)、峯尾文世(87文国)、村本淳子(73聖母)、梅本純子(82文仏)、竹之内祥子(78文英)、飯塚桂子(78文独)

②新規登録団体(学部・学科同窓会、各種ソフィア会)6団体を承認

学部・学科／上智大学ドイツ文学科同窓会

各種ソフィア会／酒讀会、上智大学管弦楽団OB会、佐藤ゼミナール「真友会」、宮本久雄ゼミOB・OG会、味の素ソフィア会

③2014年度事業報告・決算報告並びに監査報告と2015年度事業計画・予算案を承認

④ソフィア会会則の一部改定を承認

⑤全国代議員会規程制定および役員選考委員会規程制定を承認

⑥被頭彰者選考委員会委員を選任

金・ルビー・銀・銅祝祝典の参加者は 拡大の一途

5月31日(日)、オールソフィアンの集い(ASF)当日の午前10時半から、10号館講堂で大学主催行事として恒例の式典(金・ルビー・銀・銅祝)が行われました。

この祝典の参加者はこのところ拡大の一途。会場の10号館講堂はそれぞれのお祝いに該当する人たちで埋め尽くされ、会場のいたるところで同期の顔を見つけた歓声が沸き起こりました。祝典は全員で校歌斉唱のあと、高祖敏明上智学院理事長、早下隆土上智大学長、上原治也ソフィア会会長によって現在の学院や大学、ソフィア会の現状が紹介され、久しぶりに母校を訪れたソフィアンたちもその話に熱心に耳を傾けていました。

続いて、各祝典の代表者にラテン語で書かれた祝状が贈られ、それに対し金・ルビー・銀・銅祝それぞれの代表が在学時代の思い出や恩師への謝辞、現在の上智大学の発展ぶりなどについての思いを語りました。

午後はそれぞれの会場で懇親会を開催。卒業50周年の金祝には約250名、同じく25周年の銀祝には約540名が参加するという盛況ぶりでした。例年通り、卒業後25年を経て仕事も家庭も安定した銀祝の参加者が増えているのですが、最近では卒業50周年の金祝の参加者が増しているようです。

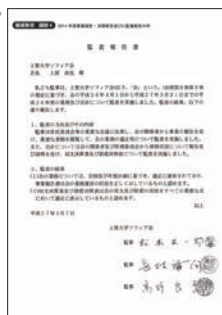


2014年度収支決算書

自2014年4月1日～至2015年3月31日

項 目	2014年度予算(円)	2014年度実績(円)
【収入の部】		
1 同窓会積立金(終身会費)(注1)	56,300,000	61,700,000
2 入会金収入	1,100,000	760,000
3 維持会費(任意)収入	5,000,000	3,275,813
4 上智学院預け金利息	3,400,000	3,761,400
5 カード手数料収入(注2)	4,000,000	3,742,652
6 クラブ使用料収入	2,600,000	2,408,126
7 受取利息	20,000	1,291
8 その他収入(ネットショッピングなど)(注2)	600,000	687,835
収入計	73,020,000	76,287,117
【経常支出の部】		
1 事務局費		
事務局費用	16,800,000	12,139,086
2 事業費		
①広報費(注3)	7,090,000	7,319,318
②ソフィアンズクラブ	4,950,000	5,135,948
③未来募金(注4)	10,600,000	14,600,000
④ASF運営費	3,500,000	2,932,800
⑤ソフィアンズカード入会推進費	10,000	0
⑥地域・各種ソフィア会連携推進費	4,300,000	4,197,569
⑦学生課外活動支援費	8,000,000	8,000,000
⑧NEXT100プロジェクト(注5)	1,200,000	—
⑨その他行事費 (寄付講座費、学生支援費、金ルビー銀銅祝、ゴルフ、クリスマス等)(注6)	3,510,000	4,452,834
⑩ITインフラ支援	1,080,000	1,056,000
3 予備費(注7)	1,980,000	0
4 基金積立額	10,000,000	10,000,000
経常支出計	73,020,000	69,833,555
当期収支(収入 - 経常支出)		
		6,453,562
積立金		
期首積立額	367,343,347	367,343,347
基金積立額	10,000,000	10,000,000
当期収支差額の積立	0	6,453,562
期末積立額	377,343,347	383,796,909

(注1) 同窓会積立金(終身会費)は、学生が納入した時点で、これを分割前払で納入したものととしてソフィア会の収入として計上し、同時に上智学院に預けています。2014年度は、総合グローバル学部の新設(2014年度から 定員220名)および各学科の2011年度からの定員増により、約336万円の収入増となりました。(注2) カード手数料収入、一般の種(ネットショッピングなど)の収入は、その案内の趣旨から、全額、課外活動支援の目的指定の基金に優先して充当します。2015年度は、新たな収入源として、ソフィアンズクラブへの広告掲載による100万円の広告費収入を、「その他収入(ネットショッピングなど)」に計上しております。(注3) 広報費は、「ソフィア会ハンドブック(改訂版)」および「Webサイト(増加分)」の制作費用を予算増しております。(注4) 上智学院の支援強化と全般的な節約により黒字の収支残見通しとなったことから、常任委員会決定により、未来募金への貢献を目的に400万円を追加募集しました。2015年度も、この未来募金への貢献を継続することとしました。(注5)「その他事業費」の一部であった「NEXT100プロジェクト」を2015年度は分離したため、比較上2014年度も同様の表示としています。(注6) 2015年度は、顕彰費・ルビー祝・国際委員会関係費を新規予算計上しております。(注7) 2014年10月の外部業者との業務委託契約の改定および同年11月に開催された上海大会の準備打合せのため、ITインフラ支援に8万円、地域・各種ソフィア会連携推進費に10万円の追加予算が必要となり、それぞれ常任委員会の承認を得て、予備費(当初予算216万円)から合計18万円を振替ました。その結果、振替後の予備費予算は198万円となりました。



ソフィア会会員大会で会務を報告



5月31日(日)、10号館講堂で行われた金・ルビー・銀・銅祝の祝典に続き、同会場でもソフィア会会員大会を行いました。

今年もこの場で、上原治也会長が直接、2014年のソフィア会活動の状況、とりわけ募金活動の状況や、今建設中のソフィアタワーに開設予定の新ソフィアンズクラブなどについて報告を行いました。この会員大会は「毎年1回事業年度終了後2か月以内に会長がこれを招集する」(ソフィア会会則)と規定されているもので、ソフィア会員はどなたでも出席できます。

2014年度ソフィア会重点施策の実施結果(ソフィア会会則 第30条にある事業報告を兼ねる)

1. 上智学院・大学との連携強化

- ◇ 上智学院・大学行事への積極的な支援・参画
- ◇ SOPHIA 未来募金支援の具体化
- ◇ ソフィア連携室との協力体制の確立
- ◇ 新ソフィアンズクラブ計画と上智大学教育研究及び奨学金支援目的のサポート会員制度の具体化

結果 未来募金支援のためのソフィアグッズの企画・販売の実施、及び新ソフィアンズクラブ計画の具体化に向け実行委員会の活動開始。

2. 新たな100年に向けてのソフィア会事業の取り組み

- ◇ グローバルな同窓会組織への発展の検討
- ◇ NEXT100プロジェクトの推進
- ◇ 女性・若い世代の参画する組織体制・事業の検討

結果 NEXT100プロジェクトの10を超えるグループが、それぞれのテーマで活動を展開。特に、メンター制度のグローバル展開に向け着手。

3. ソフィア会員との絆の強化

- ◇ ソフィア会 Webへの投稿の推進
- ◇ 月2回配信メールニュースの継続とメール会員の増加
- ◇ ソフィア会 facebookの活用強化
- ◇ 会員参加企画の充実 (ASF / ASC / ゴルフ大会等)

結果 予定されたイベントの実施。メール会員数は3万5千を超え、上智学院と共同で英文併記のメールニュースを発信開始。facebook 活用は5,941人。

4. 地域・各種ソフィア会活動に対する連携・支援強化

- ◇ 学部・学科同窓会の支援強化
- ◇ 第6回地域ソフィア会全国大会(新潟大会)実施によるネットワーク強化
- ◇ 第2回アジアソフィア会(上海)の開催
- ◇ 新規の地域・各種ソフィア会設立の支援
- ◇ 海外メンター制度への支援

結果 社会福祉学科同窓会の設立完了。上海におけるアジアソフィア会及び新潟における地域ソフィア会全国大会の実施。9団体の地域・各種ソフィア会設立。

5. ソフィア会の健全な発展に向けての財政基盤の強化

- ◇ ソフィア会基金の年間1,000万円積立の継続
- ◇ 維持会費年間目標500万円の達成協力依頼と広報活動の強化
- ◇ 維持会費自動引き落とし利用者の増強

結果 維持会費広報の改善に着手。納入者716名 約327万(自動引落116名)

6. 最高議決機関としての全国代議員会の役割強化と参加率の向上

- ◇ 代議員のWeb・メール利用の周知と利用率100%をめざす
- ◇ 代議員の専門委員への参画強化

結果 メール利用率の改善。利用状況は472名中273名(57.5%)

7. 現役学生支援強化と学生との連携企画の充実

- ◇ 継続的課外活動支援(予算800万円)
- ◇ 学生との連携企画 (ASF・ASC等)
- ◇ 就活支援企画

結果 課外活動支援(800万円)の実行。学生に対する就活支援及び連携強化。

2015年秋季全国代議員会レポート

審議、報告に続き、 藤崎一郎特別招聘教授が 特別講演

上智大学ソフィア会は10月24日(土)午後2時半から、上智大学10号館講堂において、434名の代議員の出席(議長への委任状を含む)のもと、2015年上智大学ソフィア会秋季全国代議員会を開催しました。

代議員会は上原治也ソフィア会会長の挨拶に続き、来賓としてお迎えした高祖敏明上智学院理事長、早下隆土上智大学長が挨拶。続いて、上原会長が議長となり4つの議題を審議、いずれも拍手で承認されました。

今回新規登録団体として4つの団体が承認され、ソフィア会の登録団体(学部・学科同窓会、地域・各種ソフィア会)は291団体となりました。つづく報告では、これまで最大の参加者を集めた第7回地域ソフィア会全国大会(広島大会)の様子などが紹介されました。

今回の代議員会はこの後、「グローバル化の落とし穴と上智」とのテーマで藤崎一郎特別招聘教授(前駐米大使、日米協会会長、上智大学国際



関係研究所代表、慶応大学特別招聘教授)が特別講演を行いました。

この中で藤崎氏は「『フラット化する社会』(トーマス・フリードマン)といわれるが、やはり世界は国と国との関係で動いている。一方、人と人とのつながりもできている。そこで、いかに情報を発信し受信するかが重要になっている。グローバル化の中で語学はもちろん重要だが、発信する情報の中身も重要。その両方を備えなければならない」と指摘しました。



「ソフィア会ハンドブック2015-2016」を発行しました

ソフィア会の活動内容を紹介する「ソフィア会ハンドブック」の最新版「2015-2016」を9月末に発行しました(B5判オールカラー36ページ)。

上智大学ハンドブックは2009年に初めて発行して以来改訂を重ね、今回の2015-2016版は4回目の発行。公式行事であるASFやASC、また地域ソフィア会・各種ソフィア会などの登録ソフィア会の活動内容を紹介するとともに、ソフィア会の歴史や現在の運営費の状況、会則など、ソフィア会を理解していただくためのさまざまな情報を掲載しています。

地域ソフィア会などの開催に合わせて会員に無償で提供しますので、その際は事務局までお問合せください。





ALL SOPHIAN'S FESTIVAL 2015



2015年5月31日(日)、2015年度のAll Sophians' Festivalを開催いたしました。
ご来場いただきました皆様、ご協力いただきました皆様、
ご関係者、実行委員の皆様にご心より御礼申し上げます。



2015年5月31日(日)、「Made in Sophia あなたがソフィアンで良かった♡」をテーマに2015年度のAll Sophians' Festivalを開催いたしました。

今年はTEDxSophiaUniversity^(※)の開催など新たなチャレンジを行いました。その結果、100周年を除くとこれまでで最多となる、10,645人のソフィアンにご来場いただきました。ありがとうございました!少しでも多くの方に「ソフィアンでよかったな」と感じて頂いていたら幸いです。

来年もさらに工夫を重ねたいと思いますので、楽しみにして下さい。
2016年5月の最終日曜日、お会いできるのを楽しみにしています!

ASF2015 実行委員長 金谷武明(95法法)



(※)TEDxとは、スピーチで有名なTEDの
"IdeasWorthSpreading"の精神のもと、世界130カ
国以上で発足しているコミュニティです。

TEDxSophiaUniversityは2015年に発足され、今年度のASFでは「Diversity Into Unity」をテーマとし、第一回目のイベントが開催されました。上智コミュニティ内ならではの多様な人々に注目し活動している団体です。



3年連続晴佐久昌英神父登壇!



理事長、学長、会長、揃い踏み



卒業後50年は金祝



卒業後25年は銀祝



卒業後15年は銅祝



卒業後35年はルビー祝





ASFはミサから始まります



カーリー先生ご健在♪



SELDAA主催吉田研作先生講演会



OBOG交流会拡大版



フロによる健康チェック



All Sophians' Festival 2016

2016.5.29です

ソフィアの広場

- 登録・非登録を問わずソフィア会の団体数が増えソフィア会活動が活発になるに伴って、投稿記事が増え、しかも複数回投稿くださる団体もあってうれしい悲鳴です。全部を紹介することはできませんので、編集部としてもいろいろ工夫していますが、投稿いただいた記事と写真はすべてソフィア会の WEB サイトに掲載していますのでご理解ください。
- お送りくださる写真のサイズは 1MB 以上をお願いします。なお、皆さまの集合写真は WEB 上では紹介させていただきますが、御地の名所、イベント、街並みなどの写真を別途ナウ用にお送りいただけると幸いです。

海外ソフィア会

42か国63の都市にソフィア会があり、折々集まって親睦を深めています。

ベルギー ソフィア会

開催日
2015.01.24



総勢12名がブリュッセルの老舗和食店に集まり、和気あいの「ベルギーソフィア会」を開催しました。

モスクワ ソフィア会

開催日
2015.03.06

市内のタイレストランで、モスクワソフィア会の定例会を開催しました。ロシア経済は厳しい状況が続いていますが、モスクワのソフィアは元気にたくましく生活しています。



インド ソフィア会

開催日
2015.05.05

デリー地区第11回目の懇親会を開催しました。



ソウル ソフィア会

開催日
2015.05.21

ソウル市弘大の料理店にて懇親会を開催、現役のソフィア4名を含む15名が集まりました。



サンパウロ ソフィア会

開催日
2015.02.08

今年最初の懇親会を、サンパウロ市から車で1時間ほどの郊外アチバヤで開催しました。サンパウロ以外の州に住む卒業生や留学中の現役学生も大勢参加して下さり、総勢26名で親睦を深めました。



UAE ソフィア会

開催日
2015.03.12

第5回UAEソフィア会を開催。また、翌13日にはドバイ支部の第2回ランチ会も開催されました。

メキシコ ソフィア会

開催日
2015.03.23

今年第1回目のメキシコソフィア会。今回帰任される方、新たにメキシコに赴任された方、さらには日本からメキシコに「帰省中」の方など、多くの方にご参加いただきました。

台湾 ソフィア会

開催日
2015.06.06

16名の参加を得て2015年度の年次総会兼懇親会を開催しました。台湾に在住のソフィアで会員未登録の方、出張等で台湾に寄られるソフィアは sophian.taiwan@gmail.com にご連絡ください。

ジャカルタ ソフィア会

開催日
2015.06.20

21名の参加者で1年4ヶ月ぶりにソフィア会を開催しました。



ミュンヘンソフィア会

開催日
2015.06.20

初夏のミュンヘンの日本・ビストロ・レストランに16名が集まりました。



デュッセルドルフソフィア会

開催日
2015.06.27

留学生5名含む30人超のソフィアンが市内のライン河沿いの会場でバーベキューを楽しみました。



フランスソフィア会

開催日
2015.08.07

立秋の夕、セーヌ河畔で開催中の「パリ・ブーージュ(パリ・ビーチ)」にて、早慶上智パリ同窓会共催の納涼会を開催しました。



ニューヨークソフィア会

開催日
2015.09.09

タイムズスクエアのトムソン・ロイター本社会議室にて、今年度から始まった国連実践型研修プログラム、「国連外交の実際を学ぶ」参加の現役学生18名と、ロイター、共同通信でインターン中の現役学生2名を囲む総勢40名で交流会を開催しました。

マドリードソフィア会

開催日
2015.07.07

バカンスに入る前の七夕の夕刻、スペイン料理を和風に盛り付けた流行りのレストランに外西卒の4人が集まりました。



ミラノソフィア会

開催日
2015.07.15



EXPO開催中のミラノで、約2年ぶりにソフィア会を開催しました。新メンバーを3人加え、計8名が集まりました。

アイルランドソフィア会

開催日
2015.08.24~27

司祭叙階50周年を迎え一時帰国された名誉教授ドナルド・ドイル神父様を囲んで日本からジョインされた和泉前ソフィア会会長ほか数名のソフィアンとそのご家族およびアイルランドソフィア会のメンバーで記念ミサのほか、お祝いの会やグレンダロッホの散策などを楽しみました。



ワシントンDCソフィア会

開催日
2015.09.07

夏休みの終わりを告げるレーバー・デいの休日に、訪米中のグローバル化推進担当理事補佐の曄道先生、グローバル教育センターの中島さんをお迎えしてバーベキューを開催しました。



国内ソフィア会

国内ソフィア会は、46都道府県に在り、81団体を数えます。

アルプスソフィア会

開催日
2015.04.27

アルプスソフィア会主催の上高地開山祭ソフィアンの集いを開催しました。遠路千葉、東京、山梨からのソフィアンを含め20名で上高地ならではの大自然の醍醐味を味わいました。



日野ソフィア会

開催日
2015.04.18

第5回日野ソフィア会を開催。19名の参加者のうち8名が初参加でした。卒業したばかりの若いソフィアン、可愛いお子さん連れの方など新鮮な雰囲気の中、楽しく和やかなひと時を過ごすことができました!

函館ソフィア会

開催日
2015.04.25

函館山山頂レストラン「ジェノバ」で新年度会の定期総会・懇親会を開催しました。絶好の好天に恵まれて素晴らしい夕暮れとその後の夜景を堪能しました。

国内ソフィア会

千曲川 ソフィア会

開催日
2015.05.17

第9回総会と懇親会を開催しました。会員27名の参加に加えて、長野県副知事の中島前准教授、長野県出身の矢島法学部長を初め10名の多様なゲストの皆さまにお越しいただきました。



福岡 ソフィア会

開催日
2015.05.29

博多駅前、JRホテル内のレストランで夏の懇親会を開催しました。翌日に開催された地域懇談会のために来福された先生方や大学スタッフ、また、北九州ソフィア会からもご参加いただき、50名を超える賑やかな会になりました。



札幌 ソフィア会

開催日
2015.06.13

札幌グランドホテルにて札幌ソフィア会を開催しました。地域懇談会のために来道されたスタッフも含め1950年代卒から2015年卒までの41名が参加して和やかなひと時を過ごしました。



熊本 ソフィア会

開催日
2015.06.20

平成27年度の総会・懇親会を開催しました。初参加者2名を含む33名の参加がありました。



新潟 ソフィア会

開催日
2015.06.27

新潟市中央区のNEXT21五十嵐邸結にて、総会・懇親会を開催しました。藤村副学長、谷外国語学部長にもお越しいただき大変盛況でした。



宮城 ソフィア会

開催日
2015.06.27

平成27年度総会・懇親会を仙台市内のレストランで開催。約30名のソフィアンに参加をいただきました。来年の第8回地域ソフィア会全国大会のホスト役を宮城ソフィア会が務めたいむね松良会長より提案があり、満場一致でこれをお引き受けすることが決まりました。

来年は全国のソフィアンを宮城・仙台にお迎えして、被災地の現状、全国の皆さまのご厚情に感謝を表する場にしたいと考えます。



逗葉 ソフィア会

開催日
2015.06.27

有志が集まって計画し、しばらく中断していた逗子・葉山のソフィア会を再出発させました。当日は逗子駅前のレストランに、30代から80代まで38名が参加してくれました。



立川 ソフィア会

開催日
2015.06.28

伊勢丹立川店・バンケットルームにて20名の参加を得て、第14回立川ソフィア会総会・懇親会を催しました。ソフィア会より横原組織委員長にお越しいただき大学・ソフィア会の近況を伺いました。



庄内 ソフィア会

開催日
2015.06.28

渡部昇一名誉教授を郷里の鶴岡市にお迎えして第1回庄内ソフィア会を開催してからすでに四半世紀。このたび設立25周年記念の懇親会を開催しました。

さいたま ソフィア会

開催日
2015.07.05

浦和の伊勢丹クロールームにて、第14回目の記念パーティーを開催しました。当日は学院より山岡総務担当理事をお招きし、また当会の特別会員・佐藤源貞名誉教授も元気な顔を見せてくださり、32名のソフィアンが一堂に会して賑やかな懇親パーティーとなりました。

高知 ソフィア会

開催日
2015.07.10

2年ぶりに高知ソフィア会総会・懇親会を開催しました。地域懇談会で来高された山岡理事、山田経済学部長ほか学院・大学の方々、後援会の田村貴子さまにご参加いただき、楽しく有意義な時間を過ごしました。

石川 ソフィア会

開催日
2015.07.12

金沢ニューグランドホテルにて平成27年度の定期総会・懇親会を行いました。参加者27名、うち5名が初参加で和やかに互いの近況など語りました。

板橋 ソフィア会

開催日
2015.07.12

東武東上線大山駅近くのハッピーロード商店街にて第21回目の総会・懇親会を開催。懇親会では来賓の戸川ソフィア会副会長よりソフィア会の新たな取り組みなどについて、津久井前事務局主事からは上智大学古本基金についてお話いただきました。



山口県 ソフィア会

開催日
2015.07.25

山口市湯田温泉にて懇親会を開催し、ソフィアンの絆を深めました。当会の竹山会長は、来年12月末竣工予定のソフィアタワーの建設に係わっておられますのでそのお話も聞けました。少人数でしたが、とても楽しい会となりました。



宮崎 ソフィア会

開催日
2015.07.17



地域懇談会のため宮崎入りされた早下学長、矢島法学部長、三輪総務局長、川瀬学生生活支援チームリーダーにも参加いただき懇親会を開催しました。スペシャルゲストのご参加、かつ学長・総務部長が地元出身であることからかいつも以上に盛会でした。

広島西部 ソフィア会

開催日
2015.07.25

今秋催の第7回地域ソフィア会全国大会の決起集会も兼ねて大会会場のホテルで懇親会を開催しました。今回も、ソフィア会本部や広島西部ソフィア会などから7名のゲストをお迎えして総勢50名近くとなり、いつも通り大変賑やかな会となりました。

埼玉西部 ソフィア会

開催日
2015.09.27

川越で"小江戸"散策と懇親会を開催。25名が参加されました。懇親会では緑川様(05文英)に"英語教育半世紀。そこから見えてくるもの"と題してお話を伺いました。石川副会長にもご参加いただきソフィア会の多彩な活動について御丁寧なお話を伺いました。



福島 ソフィア会

開催日
2015.08.29

福島には「いわきソフィア会」「郡山ソフィア会」「会津ソフィア会」の3組織がありますが、震災以降それぞれの会で集まる機会が減ったため合同の「ソフィア会」を開催することになり、今回で3回目となりました。ソフィア会の横原組織委員長にもお越しいただき最近の学内の様子などもお話いただきました。

四街道・佐倉 ソフィア会

開催日
2015.09.12

DIC川村記念美術館内のレストランにて第5回四街道・佐倉ソフィア会を開催しました。ソフィア会の星島組織委員も参加くださり母校の現状などをお話いただき、新規参加者5名を含む会員29名楽しく歓談しました。



ドナル・ドイル先生へのお祝いの輪広がる —— 叙階50周年とアイルランド大統領殊勲章を叙勲

上智大学名誉教授でソフィア会副会長でもあるドナル・ドイル先生が今年、司祭叙階50周年を迎えられました。また、9月にはアイルランドに貢献した人に贈られるアイルランド大統領殊勲章(The Presidential Distinguished Service Awards)を叙勲されました。この勲章は、海外のアイリッシュコミュニティの推薦により、芸術・文化・スポーツ・ビジネス・教育・人道支援など諸分野で最もアイルランドに貢献した人に贈られる名誉ある賞で、国内外で相次いでお祝いの会が開催されました。

●アイルランドのお祝いには日本からもツアーが

先生のおふろさとアイルランドでは8月末、夏休みを利用して帰郷される先生に合わせ、アイルランドソフィア会主催で一連のお祝い行事がありました。これには日本からも和泉法夫前ソフィア会長をはじめ先生に近い方々が合流。先生の案内でダブリンの教会やカテドラル遺跡などを散策したり、アイルランドソフィア会の田中幸子さん(82外仏)宅でのホームパーティなど、盛りだくさんのイベントが続きました。

8月26日(水)のダブリン市内のイエズス会ゴンザガ・カレッジの聖堂での

「50周年感謝ミサ」では、日本への派遣が決まった知らせを受けてご両親が書かれた手紙が英語と日本語で朗読され、大切な若い息子を遠い未知の国・日本へ送り出したご両親のお気持ちの切々とあふれる言葉が紹介されました。お説教でドイル先生は「このチャレンジに飛び込む若い自分の心は不安でいっぱいでしたが、この年月を振り返れば、出逢い(encounter)



ミサで披露された写真
(ご両親と若き日の先生=左。叙階された後、お母様に祝福をされる=右)

の大切さに支えられた日々でした」と話されました。

ミサの後には先生の御親戚のお宅で祝賀パーティが催され、2011年まで2期14年間にわたってアイルランド大統領であったメ

アリー・マッカーリース(Mary McAleese)氏も出席。長年にわたって日本とアイルランドとの友好に貢献された先生への尊敬と親愛あふれる会となりました。

●「司祭叙階50周年お祝いの会」には3校の教え子が集合

国内では10月17日(土)、横浜駅近くのホテルプラムで「ドナル・ドイル先生司祭叙階50周年お祝いの会」が行われ、先生が教鞭をとった広島学院、栄光学園、そして上智大学の教え子や関係者など100名を超える人たちが参加しました。

戸川宏一ソフィア会副会長をはじめ、栄光学園、広島学院の代表の方々が先生の思い出話を披露。先生と親交の深いアイルランド大使のアン・バリント氏も叙階50周年と叙勲のお祝いを述べられました。

これに対し先生はスピーチの中で、広島学院、栄光学園時代の教え子や、上智大学アイルランドツアーの参加者、クルトゥルハイムで先生が司式したご家族など、司祭になる前から出会った教え子やいろいろなつながりのある人たちを壇上に呼んで紹介し、会場全体に「幸せな日々でした」と感謝されました。



お祝いの夕食会に集まったアイルランドと日本のソフィアンたち



ホテルプラムでのお祝いの会でスピーチされる先生

第3回上智大学建学の精神を学ぶ旅 ～アンコール遺跡とラオスの旅～

石澤良昭元学長ご自身のご案内による「第3回本学建学の精神を学ぶ旅～アンコール遺跡とラオスの旅～」は、8月6日(木)～12日(水)に総勢28名の参加者にて実施されました。

今回の旅の前半の訪問地はラオスで、8月6日の夕刻に首都ビエンチャンに到着。7日は黄金の仏塔「タート・ルアン」、凱旋門など市内観光をしたのち夕刻に古都ルアン・パバーンに移動。8日はボートでメコン川を遡って住民たちが願いをこめて無数の仏像を安置した「バクウ洞窟」を見学。そして1860年にアンコール遺跡を始めてヨーロッパに紹介した翌年弱冠35歳で彼の地に客死したアンリ・ムオの墓所に詣でました。

その後ルアン・パバーンに戻ってモザイク画で有名な「ワット・シェントーン」を見学。この美しいモザイク画はカラフルなガラスの小片で仏教



の数々の逸話を描いたもので、西洋の大聖堂のステンドグラスの絵を髣髴とさせるものでした。その後プーシーの丘から世界遺産である町の景観を楽しみ、翌9日の早朝には僧侶たちの托鉢と信徒たちが喜捨によって出家者をささえる上座仏教の修行風景や「王宮博物館」を見学してラオスを後にし、カンボジアのシェムリアップへ移動。

10日、11日のアンコール遺跡群見学では、「アンコール・トム」、「アンコール・ワット」、「タ・プロム」の三大人気スポットの他にソフィアミッションが274体の廃仏を発見

した「バンテアイ・クディ」の発掘現場を見学。その後、廃仏が展示されている「シハヌーク・イオン博物館」そして「文化省アンコール保存事務所」を訪問しました。

我々の案内に引き続いて近隣5カ国の遺跡保存担当官たちと上智モデルのセミナーを開催するため現地に残られた石澤先生の後姿に上智大学建学の精神を確認しながらシェムリアップを後にしました。

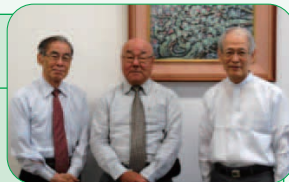


再び上智大学生に

帯広から毎週、母校の授業に通う浅野祐一さん(67経商)。石澤良昭先生のアンコールワット遺跡保存活動を長年応援するなかで、母校で学び直したいと決心した。

高祖理事長から思い立った動機を聞かれると「70歳になってひとつの人生の区切りとして考えたのです。会社の経営も安定したので、石澤先生のように向学心と向上心を一生持ち続けたい気持ちが出てきました。今回、石澤先生に骨を折っていただき、母校での学びに戻ることができました」。

現役学生や大学へのメッセージを求められると「目標と信念を持って勉強を頑張ってください。また我々のように第2、第3の人生を始める者がどんどん大学で学べるといいですね」と語っていた。



お国自慢スピーチコンテストなどで年々賑わいを みせる上智大学祖師谷文化祭

—トライアングルフェスタ2015



11月8日(日)、上智大学祖師谷文化祭(トライアングルフェスタ2015)で留学生による「第3回お国自慢日本語スピーチコンテスト」が行われました。

今年は、中国、タイ、アメリカ、フランスおよびトルコ出身の5名が参加、それぞれ自分たちの国について画像などを使いながら3分ほどのスピーチで競い合いました。聴衆とのQ&Aタイムでは、学生生活についての質問も。来場者は年々増え、中には、スピーチコンテストのファンだというちびっ子も来ていました。

参加留学生には3位までには賞金が、また参加賞として歌舞伎鑑賞券が贈られました。全員、まだ歌舞伎は見たことがないということで楽しみにしているようでした。

また、同文化祭ではソフィア会の国際委員会が企画した「オールソフィアン寄席」も開かれました。祖師谷国際交流会館に住んでいる留学生に、落語を通じて日本語を勉強してもらおうという趣旨で企画されたもので、噺家として活躍しているソフィアン全員が集まる寄席は数年ぶり。日本語・英語落語で2時間近く中入りなしで皆さん楽しまれています。

なお、トライアングルフェスタの会場は、上智大学が2012年から運用を開始している祖師谷国際交流会館で、外国人留学生と日本人学生が入居する国際交流寮(男女)として使われています。



留学生への支援事業などに力 — 金祝燦燦会

金祝燦燦会は海外からの留学生への支援事業を中心として、アジアからの留学生に会員の寄付金による金祝奨励金の支給と日本語スピーチコンテストを5月のASFで実施しました。また会員の交流と親睦を図るため、春の総会と懇親会、ASFでの金祝お休みの開店、秋の懇親会、そして金祝奨励金の授与式においても懇親会を開いています。

一方、過去2年にわたり実施してきたトライアングルフェスタでのお国自慢スピーチコンテストは、今年からソフィア会国際委員会に移管しました。

留学生への支援活動は、留学生が親日家として母国と日本との懸け橋になってほしいと願う気持ちに根差していますが、それと同時に母校への貢献に直結するものです。発足当初から、ソフィア会の支援を受けて活動していますが、留学生への支援活動を拡充し、永続化するにはソフィア会との連携が不可欠です。

金祝燦燦会は2012年1月20日に会員33名で発足。同年5月のソフィア会春季全国代議員会で登録団体として承認さ、現在会員は1956年卒から1965年卒までの258名となっています。



8月3日に開催した第3回金祝奨励金授与式・懇親会で

ドイチェルリンクはドイツ語スピーチコンテスト

ドイツ語の振興や日本人とドイツ人学生が積極的に交流できる場の提供をコンセプトに活動しているサークル、Deutscher Ring(ドイチェルリンク)の同窓会であるDeutscher Ringソフィア会は、毎年ドイツ語スピーチコンテストを開催しています。

今年、第4回を迎えるドイツ語スピーチコンテストは12月5日(土)に学内で開催。サークル活動の一環としてドイツ語学科同窓会を始め、多くの団体・組織も協力・後援しています。



ご協力をお願いします

SOPHIA未来募金にもご協力を

上智大学100周年記念募金に続き、2014年春からは「SOPHIA未来募金」がスタートしています。

学校法人上智学院における教育研究支援活動、学生の就学支援活動、教育研究環境整備支援活動に要する資金調達のため取り組まれているものです。

使途として①教育研究支援(グローバルリーダー養成支援、キャリア支援、グリーンケア人材養成支援、課外活動支援など)、②学生の就学支援(奨学金の新設・拡充=経済的に就学困難な学生、海外留学を希望する学生、外国人学生のための奨学支援など)、③教育研究環境整備支援(新棟建築、四谷キャンパスをはじめとする各キャンパスの整備・再構築等の施設整備など)の3つが掲げられています。

ソフィア会では、このSOPHIA未来募金を支援するため、募金委員会が中心となって募金グッズの販売などを行っています。

もちろん、上智大学のWebサイトから募金することもできます。上智大学のWebサイトで「SOPHIA未来募金」で検索すると、24時間可能な送金方法が表示されます。

ソフィア会維持会費にご協力を

上智大学ソフィア会は、主に皆様に在学時に納入いただいた「同窓会積立金(終身会費)」と、任意で納めていただく「維持会費」により運営されています。現在、ソフィア会収入のうち維持会費の割合はわずか数パーセントに留まっています。ソフィア会の維持・発展のためには、皆様のご協力による維持会費の拡充が必要になっています。

●拡大し続けるソフィア会

上智大学ソフィア会の会員数は13万人に達しました。海外のソフィアンも増えていきます。そのためソフィア会では新たに国際委員会を設置し、Webサイトやメールニュースなど、さまざまなコミュニケーション手段のグローバル化を積極的に推進しています。

一方、2016年12月竣工予定の「ソフィアタワー(新6号館)」の中に「新ソフィアンズクラブ」が誕生します。ソフィアンの皆様の親睦や打ち合わせの場として、快適にご利用いただけるよう検討中です。

●ソフィア会活動を支える維持会費

ソフィア会の運営費は、長らく在学中に徴収される同窓会積立金が唯一の財源でした。しかし、このように多様化するソフィア会活動を支える新たな財源が必要となり、2008年秋の全国代議員会で維持会費制度が導入されました。この維持会費は、あくまで任意で納入いただくいわば寄付のようなもので、他大学でも多くの同窓会で導入されています。

ご協力いただいた維持会費は、この「ソフィアンズナウ」やWebサイトの制作・運営費、メールニュースの発信費とともに、地域・各種ソフィア会、同窓会のための資金的援助、「オールソフィアンの集い(ASF)」や「オールソフィアンのクリスマス(ASC)」の支援や学生に対する奨学金や課外活動支援金など、ソフィア会の活動の幅を広げる財源に充てられています。

維持会費の納入については、このソフィアンズナウに同封されている「上智大学ソフィア会『維持会費』」のお願い」チラシをご覧ください。

上智大学に誕生した国際政治と安全保障の研究拠点 ——「国際関係研究所」設立の背景を聞く

上智大学は去る7月、新たな研究機関として「国際関係研究所」を設立。総括代表に前駐米大使の藤崎一郎特別招聘教授が、そして所長に総合グローバル学部の樋渡由美教授が就任しました。国際政治学と安全保障に係る研究を軸に学内・学外の研究機関とも連携、グローバル化の進展でめまぐるしく変化する国際情勢にいかに対応するかが研究テーマ。学生を対象とした教育活動にも力を入れていくという二人のリーダーに、特にグローバル化の意義などについてお聞きしました。

研究と教育の両立を目指す

— 研究所が設立されました。具体的にどのような活動をお考えでしょうか。

藤崎 まず、アジア太平洋のガバナンスについて研究活動を行います。同時に、講演会やワークショップなどを行い、上智大学のさまざまな研究成果を発信していく。3番目の柱として、この場所でラウンドテーブルを行います。通常の講演会はどうしても一方通行になりやすいので、参加者同士で、場合によっては英語でもディスカッションをしていきたいと思っています。

— 樋渡先生は所長として、どのような研究所を目指されますか

樋渡 この研究所の話をしていただいたとき、既存の研究所とは違うものと考えました。特に学部学生にとって研究所は敷居が高いというイメージがありますが、そうではなく、研究は教育と並んで非常に大きな柱ですから、まずそれを実践したい。高祖理事長からも、研究と教育を両立させるのが上智大学だといわれましたし、教鞭をとるものとしてもその2つが結びつかないとおかしいと考えています。

アクティブ・ラーニングという言葉がありますが、一方的に授業を受けるのではなく、授業の外でも自分なりに勉強してもらうための仕組みが必要だろうと考えています。ですから、新しいタイプの教育の一環としてこの研究所を大いに活用すると、それを私は特に強調したいですね。そのような成果を出していけたらいいと思っています。

卒業生とも交流できる場を

— この研究所があるのは上智が買い取った以前福田家があったビルの1階ですね。ガラス張りで、外を通る人からも見えるユニークな研究所です。

藤崎 そうですね。研究所ですが本を並べたりしないで、ここでは白い壁と大きなテレビ画面とでみんなで楽しく議論できる場を作ろうと考えました。気軽に立ち寄れる場所にしたいと考えているわけです。

つまり、インキュベーターを目指しているわけです。研究所も具体的な訓練の場なんですよ。ところが、大人数の講演会に参加し、勇気を振り絞って一回手をあげて発言しても、答えをもらってそれでおしまい。しかしこのような場所だったら、「先生が言っていることは違うと思います」ということも切り返せる。必要なのは聞いてそれで終わりというのではなく、質問をし討議できる能力です。そのようなインキュベーターになれないかと思っています。

ですからラウンドテーブルには、卒業生にも来ていただけるようにと考えています。

樋渡 ソフィア会にはASFという大きなイベントがありますね。そこ



に多くの卒業生がいらっしゃいますので、そこで議論をする場を設けるとか。また、卒業生は昼間仕事をしていますので、夕刻から最近の国際情勢などについて話す場を設けることも考えています。そして、そのとき学生がいれば卒業生との交流が生まれます。学生が卒業生ともつながり、卒業生もここに来ればいろいろな人に会える、そういう場にしていきたいと思っています。

グローバル化の2つの要素

— 上智でも総合グローバル学部が設立され、グローバル人材育成の重要性が指摘されています。具体的にどのような取り組みが必要ですか。

樋渡 私は地域懇談会で学生の保護者と話すことがあるのですが、そのとき「総合グローバル学部ではどのような学生を育てたいと考えているのですか」という質問を受けることがあります。それに対し「グローバルというけど、場所は問題ではない。日本にいてもグローバルな視野は持てます」というと、結構安心される方が多いのです。留学をしなればいけないとか、今の流行のグローバルなトレンドにこだわる人がいるわけですが、日本にもいろいろな人が来ているし、上智のキャンパスにも留学生が大勢います。その人たちときちんとコミュニケーションできて、意見やバックグラウンドの違いがあってもスムーズに話ができる、そういう人を育てたいと思っています。

グローバルというのは別に海外に行くことではなく、日本を基点にして、日本の安全をどのように考えるかとか日本の経済をどう立て直すのか、自分の学んできたことを日本を基盤に、また上智を基盤にしっかり考えることだと思っています。つまり、グローバルは当たり前すぎて、そんな言葉を使っても意味ないとさえ思っています。

藤崎 ツールである外国語を話す能力と、そのうえで必要な情報を発信する能力。その両方が必要なんです。中身があって、それを発信するコミュニケーション手段も持っているということです。相手のいうことを理解でき、渡り合いながら、自分の意見を発信していく。そうなるためには長い時間がかかるとは思います。そのような種を苗床に植えていくことは必要だと思っています。

— もちろんその中で、安全保障の問題も重要ですね。

藤崎 南沙諸島の問題や最近の集団的自衛権の問題など、それぞれ立場は違うかもしれませんが議論はできますよね。難しい問題だからノータッチということではないと思います。一方的な主張をするということではなく、議論は大切です。

— ありがとうございます。



学生課外活動団体に活動支援金を贈呈



ソフィア会は、2015年度の学生課外活動支援金を63団体(文科系22団体、体育会41団体)に贈りました。

文科系団体については、学生センターのご協力で登録団体からの申請を受け、これまでの活動実績、企画内容、大学・社会への貢献、活動資金捻出の自助努力や部員数を審査し対象団体を選考、配分案を決定しました。体育会団体については、各部の上部組織である体育団体連合会常任委員会が体育会各部からの申請を受け、奨励金(前年度の戦績と上南戦勝利加算)と用具代などへの支援金を算出し配分案を作成。7月のソフィア会常任委員会で文科系・体育会団体からの両案を協議して決定しました。

支援金額は文科系各団体に270万円(各団体に10～20万円)、体育会団体に500万円(各部に5～20万円)。今年は文科系団体からの申請が増え、受給団体は初受給の9団体を含め22団体になりました。これは6年目を迎えたソフィア会の支援金制度が学生の間で広く知られるようになり関心が高まってきたものと思われます。

贈呈セレモニーは7月22日(水) L号館821会議室で、大学から川中副学長などをお迎えし、ソフィア会役員と常任委員が出席、63団体の代表者一人ひとりに戸川ソフィア会副会長から贈呈日録が手渡されました。



第56回上南戦 上智大学が総合優勝で4連覇

第56回を迎えた上南戦は、6月5日(金)～7日(日)の3日間、上智大学キャンパスを中心に31の競技が行われ、上智が17勝12敗2引き分けで勝利。53回大会以来、総合4連覇を達成しました。

大会の開催に先駆けて行われたサッカーと陸上競技で勝利した上智は、開会式直後のバスケットボール(男子)の勝利で勢いづき、弓道、バドミントン、卓球などが男女で勝利したのをはじめ、実力で勝るアイスホッケー、ラグビーが順当に勝利。総合優勝を決定づけました。

5日の降雨で、開催が危ぶまれたラグビー、男女ラクロスも、試合会場の変更、タイムテーブル変更などにより開催できませんでした。アメリカンフットボールのみ中止となったのが残念です。

これで上南戦の通算成績は上智の35勝16敗5引き分けとなりました。来年の第57回大会は、敵地南山での開催となりますが、過去の最多タイとなる「5連覇」を目指して、卒業生も現役を強力に支援していきます。



Flash

■今年のオールソフィアのクリスマスは12月4日です

ソフィア会は公式行事として「オールソフィアのクリスマス(ASC)2015」を12月4日(金)に開催します(上智大学共催)。

第8回を迎える今年も、聖イグナチオ教会マリア聖堂での記念ミサでスタート、メインストリートでのイルミネーション点灯式とキャンドルサービス、そして9号館地下カフェテリアでの記念パーティとプログラムが続きます。入場は無料ですが、軽食やビール、ワインなどは食券でお求めください。在籍学生には、学生証提示と引き換えに食券をプレゼントします。

■顕彰候補者の推薦をお願いします

—被顕彰者選考委員会

ソフィア会は上智大学創立100周年を機に、ソフィア会活動に顕著な貢献をされた会員に感謝を顕すための顕彰制度を立ち上げ、2013年には15名の方々に顕彰しました。ソフィア会は同制度を引き続き実施、2016年秋季全国代議員会で第2回目の顕彰を行う計画で、ソフィア会被顕彰者選考委員会は候補者を募っています。

候補者の推薦については、①顕彰に相応しい候補者の氏名・卒業年・卒業学部学科、②推薦者(2名以上・連名可)の氏名・卒業年・学部学科、③候補者を推薦する理由を明記した推薦状を2016年1月末までにソフィア会事務局(被顕彰者選考委員会委員長)にお送りください。

■2015ソフィアンズカップゴルフ大会を開催

ソフィア会は9月7日(月)に第20回ソフィアンズカップゴルフ大会を開催しました。今年の会場は埼玉県入間市の「狭山ゴルフクラブ」で、139名のソフィアンが参加。天候不順で連日の雨模様のなか当日午前中は奇跡的に雨が止み、午後後も後ろの組が残り数ホールで傘をさしてのプレーになりましたが、無事にゴルフを楽しむことができました。

ラウンド後に懇親会で各賞の表彰が行われましたが、優勝は藤代芳正さん(78外英)、準優勝は清水威男さん(66法法)、第3位は高橋准一さん(76外英)となりました。

■中野記偉名誉教授講演会と英文学科同窓会

会員大会のお知らせ

—英文学科同窓会

英文学科の生き字引とも言える中野記偉先生の講演会です。テーマは「私の英文学科、私の英文学」。スペシャルゲストも予定されています。第3回英文学科同窓会会員大会も同時に開催されます。英文学を学ぶ者、必聴の講演です。どうぞご参加下さい。

日程は2016年3月12日(土)13時からの予定。場所は上智大学内の予定です。詳細については後日、同窓会ブログサイトか同窓会FBをご覧ください。

■赤羽先生最終講義と創立50周年記念行事

—フランス文学科同窓会

フランス文学科同窓会では2016年1月30日(土)、赤羽研三先生(15時より2401教室)と感謝の集い(17時より2号館学生食堂)を行います。

また、2016年にはフランス文学科創立50周年を迎えます。10月に記念行事(第1部卒業生によるシンポジウム、第2部祝賀会)を企画していますので、今後のソフィア会Webサイトなどでの案内に注目してください。

■連続講演会が最終回を迎えました

—ソフィア経済人倶楽部など

上智大学と上智大学ソフィア会、ソフィア経済人倶楽部が共催する「ダイバーシティが日本経済を活性化」(全4回シリーズ)の最終回が12月8日(火)17:30から四谷キャンパスL号館9階911会議室で行われます。最終回のテーマは「女性、障がい者、外国人、高齢者の視点から総括する」。細川佳代子氏などがパネリストディスカッションを行います。その後、2号館教職員食堂で懇親会を開催します。

■オールソフィアンズ健康マラソン大会は12月13日

—体育会OB会

上智大学体育会OB会は12月13日(日)、「第22回オールソフィアンズ健康マラソン大会」を開催します。皇居桜田門をスタートし、皇居周回の5Kmコースでランニングとウォーキングの2種目(12:00受付開始)。上智大学のOBOG、教職員およびそのご家族が参加できます。終了後はソフィアンズクラブでの懇親会を行います。

■松本方哉さん講演会

「海外特派員から介護ジャーナリズムまで」

—ソフィア会とマスコミ・ソフィア会

ソフィア会はマスコミ・ソフィア会と共催で、フジテレビ報道キャスター・解説委員の松本方哉さん(文英)の講演会「海外特派員から介護ジャーナリズムまで」を10月9日(金)、学内17階国際会議場において開催。

学生時代のエピソードからフジテレビ入社後のワシントン特派員としての経験談、家庭での介護の話など、松本さんの経験と信念を余すところなく伝えていただきました。

■9月期学位授与式と秋季入学式を開催 —上智大学

上智大学は四谷キャンパス10号館講堂において、9月18日(金)に9月期学位授与式を、また21日(月)には秋学期の入学式を行いました。秋学期入学式では、国際教養学部、理工学部(英語コース)、地球環境学研究科、グローバルスタディーズ研究科、理工学研究科(英語コース)がそれぞれ新入生を迎えました。

厳かに、上智大学戦没者追悼会を開催

卒業生有志約100名が発起人となって結成された「上智大学戦没者追悼の会」が主催、ソフィア会とマスコミ・ソフィア会が共催、そして上智学院が協力し6月14日(日)上智大学戦没者追悼会が開催されました。先の大戦で徴兵され戦死・戦病死されたソフィアンの慰霊と、徴兵から無事戻られた諸先輩が背負い続けてこられたことの重荷をいくらかでも軽くしていただくこと、また若い世代のソフィアンに歴史を語り継いでもらうことを目的として行われたものです。

●追悼ミサの主司式は高祖理事長が

追悼会はミサで始まりました。先の大戦末期の学徒動員から無事おもどりになり、すでに90歳をこえた先輩方を中心に170名を超えるソフィアンが参集、終戦70年の節目の年にふさわしい厳かなミサになりました。

主司式は上智学院理事長の高祖敏明神父で、SJハウス、カトリックセンター、聖歌隊、グリークラブとそのOB会が協力。高祖神父は説教の中で「上智大学戦没者には日本人学生だけではなく台湾・朝鮮半島出身学生も含まれており共に冥福を祈りたい」と述べられました。

続く共同祈願では学徒動員者を代表して若林倫夫氏(45経商)、準備委員会を代表して元ソフィア会会長の本多義人氏(61経経)、そして昭和18年10月21日明治神宮外苑競技場で行われた出陣学徒壮行会の実況放送を務められた志村正順アナウンサーのご子女である西丸なほみさん(62外仏)が、それぞれの立場から尊い命を捧げられた先輩学



友への感謝と鎮魂の祈りおよび世界平和の実現への祈願を捧げました。

●学徒動員の方々からは体験談

ミサに続き、偲ぶ会がヨセフホールで開かれました。

黙祷を捧げた後、主催者代表江副隆愛氏(47文史)から追悼ミサ開催に感謝の言葉がありました。続く早下隆士学長は学徒動員に関する研究について触れられ、九州からお越しの大本章次郎神父(52文哲=10月29日逝去)は「神父になりたかったのに死んでしまうのかと覚悟した」などのご挨拶。本多代表からは偲ぶ会の参加者への感謝の言葉と、戦没者への献杯の発声をいただきました。

その後、当日出席された学徒動員組の7名の紹介と当時の体験談が語られ歓談に。昭和20年4月7日調布市上空でB29に体当たりして撃墜し、戦死した河野 敬氏(41予科入学)の紹介、特攻機の整備を行ったのは朝鮮半島出身者であったという中島重行氏(44専新)の証言や入隊に際して家族に残した故諸橋晋六(47経経)元ソフィア会会長の遺書と兵隊写真などが順次紹介されました。会場にはマスコミ・ソフィア会と学院の史資料室提供による戦時下の上智大学の学園生活の写真も展示されました。

ソフィアンズナウとともにWebサイト、メールニュース、facebookもご覧ください ——ソフィア会が提供する多彩なコミュニケーション手段——

ソフィア会は「会員相互の親睦」を実現するため、このソフィアンズナウをはじめ、さまざまなコミュニケーション手段を提供しています。

そのひとつがソフィア会のWebサイト(ホームページ)。紙媒体のソフィアンズナウ(年2回発行)に比べ、なんといっても速報性が持ち味です。“時空を超えて”最新情報をお伝えしています。

Webサイトで提供する情報の数は年々増加の一途。2010年以前は、新規情報の掲載は年間100本程度だったものが2014年は592本。今年600本を超えるのは確実な情勢となっています。もちろん閲覧者の数も増えています。月平均のページビューは4万件を超え、特に代議員会やASFが開催される5月にはその数が7万件に達する勢い。みなさまもぜひインターネットで「上智大学ソフィア会」をクリックしてご覧ください。

また、コミュニケーション手段のひとつにソフィア会メールニュースもあります。ソフィア会にメールアドレスを登録されている会員の方々に、お伝えした

いことを簡潔にまとめ、原則として月2回配信しています。配信をご希望の方はソフィア会WebサイトトップページのOnline Registrationからお申込みください。

メールニュースはいわゆるブッシュ型の情報配信手段ですから、ソフィア会からタイムリーに情報を提供されます。そのため、ソフィア会の最新ニュースを迅速に知ることができ、添付されているURLから該当ニュースのページに飛び、詳細をWebサイトで閲覧することも可能です。

さらに、ソフィア会にはFacebook(公式ページ)もあります。ソフィア会Webサイトのトップページの右欄のパナーのソフィア会Facebookで「いいね」をクリックしてください。ソフィア会からの新着情報が転送され、Facebookのタイトル(URL)をクリックすればWebサイトの該当ページの詳細記事をご覧できます。2015年11月現在で6,000名を超える方がソフィア会Facebookに参加されています。

今後のスケジュール	2016年 1月～2017 年 3月のソフィア会常任委員等日程(予定)	
	春季全国代議員会	5月21日(土) 上智大学・ソフィア会会員大会
	秋季全国代議員会	10月15日(土)
	2016年 1月～2017 年 3月 ソフィア会・大学のスケジュール	
	3月25日(金)	学部・大学院学位授与式
	4月 1日(金)	学部入学式
	4月 2日(土)	大学院入学式
	5月29日(日)	金・ルビー・銀・銅祝式典、上智大学ソフィア会会員大会 2016オールソフィアンの集い
	9月16日(金)	9月期学位授与式
	9月21日(水)	秋学期入学式
	9月24日(土)	第8回地域ソフィア会全国大会(宮城大会)
	11月 1日(火)	創立記念日
	12月 2日(金)	オールソフィアンのクリスマス
	12月 3日(土)	聖ザビエルの祝日
	2017年3月27日(月)	学部・大学院学位授与式

事務局便り ソフィア会事務局

上智大学卒業生が懐かしい母校にお立ち寄りになったとき、「どこか寛げるスペースがほしい」という声を聞くことがたまにあります。そんなときはどうぞソフィア会においでください。3号館の1階に事務局があります。10:00から17:00まで開室していますが、18:00まではスタッフがいます。少々手狭ですが、ちょっと休憩したいときにお寄りくだされば、ソフィアンを中心としたスタッフ一同が快くお迎えいたします。今秋からは新しいスタッフも加わり、一層のサービスに努めています。また、ソフィアンズクラブは12号館にあり、ソフィアンであれば誰でも気楽に「お茶」ができますよ。再来年4月には事務局、クラブとも揃って新棟(ソフィアタワー)に移転して新たな装いで皆様をお迎えすることになります。それも楽しみに。

訃報

2015年 4月 1日逝去	兼光秀郎	元経済学部名誉教授
2015年 5月 1日逝去	エセイサハレナ、トマス	元文学部名誉教授
2015年 6月17日逝去	ディーリ、ジョン	元外国語学部名誉教授
2015年 7月 3日逝去	綿貫謙治	元外国語学部名誉教授
2015年 7月26日逝去	山田經三	元経済学部名誉教授
2015年11月 2日逝去	ラフォン、ミゲル	元非常勤教員

ソフィア会広報委員会

穴戸周夫(71法法)、鈴木真理子(82文仏)、風間烈(65外仏)、宮崎輝雄(72法法)、平野由紀子(82文英)、山本修司(86文新)、宮地信幸(91文新)、金谷春美(03外葡)